

★ 次のエピソードについても、話し合ってみましょう。

太郎さんのお父さんは花火が大好きです。お盆の花火大会には欠かさず出かけていました。3年前、脳内出血で倒れてからは、自宅のテレビで花火大会の中継を観ているそうです。花火中継に見入っている父の姿を見た太郎さんは、家族と相談して新作花火大会へ父を連れて行くことにしました。社会福祉協議会から車いすを借りて花火会場へ向かいました。やっとの思いで満員電車に乗りこみ、目的の駅に着きました。

駅前の広場に降り立ったところで最初の花火が上がりました。お父さんは「腹へズシーンと響く、ズシーン…」と言って喜びました。

その頃から人通りが急に多くなりました。車いすを追い越していく人の中には、「こんな人混みに車いすで来るなんて…」「事故でも起きたらどうするんだ…」「こっちは急いでいるんだ…」など、聞こえよがしに非難の言葉を口にする人がいます。冷たい視線を感じながら花火大会の会場へ向かいました。



Q

もしあなたが、花火大会や祭り・ラッシュ時の駅などで、足腰の弱い高齢者や車いす・松葉杖を利用している人を見かけたら、どうしますか。

- ① 人混みは危ないので、その人や付き添いの人に「危ないから気をつけて」と優しく声をかける。
- ② 車いすや松葉杖の人の邪魔にならないように追い越して行く。
- ③ 「混雑する場所は、高齢者や障害者にとって危ないので、混雑時には出歩かないほうがいいなあ」と心の中で思うが、特別なことはしない。
- ④ 周りの人に「車いすを通して」「お年寄りがいるよ」と声をかけ、車いすや高齢者が通りやすくなるようにする。
- ⑤ その人の横や後ろについて歩き、周りの人とぶつからないように気を配る。
- ⑥ 「お手伝いできることはありますか」と聞いてみる。
- ⑦ それ以外

